

# ぶらっとサロン**椿**通信 令和4年8月号

今号の椿:初黄(しよこう)  
R4.4.11 撮影



報告:有楽齋

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一昨年3月10日から自粛し**現在休局中**です。

黄色の椿は1965年に中国に自生することが発表され、昭和57年(1982)頃日本に『金花茶(きんかちゃ)』が導入されました。今号では、交配(hybrid)で作出された黄色の椿をご案内します。



**初黄(しよこう)**  
C. hybrid 'Shoko'  
嶋立沢(しぎたつさわ)と金花茶(花粉親)の交配から生まれた品種  
最初に作出された黄花雑種で 丈夫な品種  
C.=Camellia の略



**こがねゆり**  
C.hybrid 'Kogane-yuri'  
バーバラ・クラークと金花茶の交配で生まれた品種  
花色の黄色はかなり薄い  
細長い新芽の長さは金花茶からの遺伝か?



**黄鳳(きほう)**  
C. hybrid 'Kihô'  
白鳳(はくほう)と金花茶との交配から生まれた品種  
淡黄色 一重 筒咲き 短い筒しべ 小輪



**かぎひろ**  
C. hybrid 'Kagirohi'  
Silver Chalice(シルバー・チャリス)と金花茶との種間雑種  
淡黄色 千重咲き 蕾は球形 中輪



**キザクラ**  
C. hybrid 'Kizakura'  
Barbara Clark(バーバラ・クラーク)と金花茶との交配種  
淡黄色 八重咲き 中輪



**黄基(きのもと)**  
C. hybrid 'Kinomoto'  
淡黄色 八重咲き 中輪  
黄基には数種類あるように 淡黄色という花色と金花茶の交配種だけは共通しているが一重 八重 小輪 中輪 大輪と幅広い



**黄の旋律(きのせんりつ)**  
Camellia hybrid  
'Ki-no-senritsu'  
黄鳳と金花茶との交配で生まれた品種  
淡黄色 八重 牡丹〜獅子咲き 中輪



**こがね錦(こがねにしき)**  
C. nitidissima hybrid  
'Kogane-nishiki'  
別名:黄基 93  
Betty Foy Sanders(ベティ・フォイ・サンダース)と金花茶との種間雑種  
淡黄色 紅縦絞り 一重 ラッパ咲き 小輪

## 日本の黄色椿誕生秘話(黄色椿(金花茶)から日本産の椿を作ろうと・・・)

日本の白花に黄色花の花粉を付け交配させるといういわゆる椿の人工授精です。この交配も生まれの異なった国のものを仲良くさせるのですから非常に難しい事だったようです。この問題を解決して生まれたのが、今では数十種類になっています。